



題字 町村金五書

発行所
北海道鮭商
生活衛生同業組合
札幌市中央区南1西9
アルファ西9丁目ビル4階
電話 (011) 261-2651
FAX (011) 261-2815
発行人 今井 努
編集人 大坂 智樹
印刷所 崎さんけい
季刊発行

https://sushinavi.jp/hokkaido/



新年のご挨拶

北海道鮭商生活衛生同業組合

理事長 今井 努



北海道鮭商生活衛生同業組合の皆様と
そのご家族の方々
新年明けましておめでと
うございます。
平素より本組合の活動推進にあたり、商社会・ホクレン・ぎよれん・アサヒビール・サッポロビールの皆様、関連する業者の方々には深いご理解とご支援を賜り心より感謝を申し上げます。
昨年は元旦より能登半島地震の報道に日本中が心を傷めました。復興が進まない原因として円安による建築資材の高騰

や人手不足が上げられます。
飲食業界としても働き方改革、物価の上昇、環境問題からなる食材の変化、諸外国における紛争が勃発し不安定な状態が続いている一方で、コロナ禍の後コロナとの共生という観点で経済活動の正常化が進み、昨年11月では訪日外国人（インバウンド）の人数がコロナ感染拡大前の同じ月を上回りインバウンド需要の回復が鮮明となつています。
当組合でも総会、

理事会、各イベント等が再開され対面での交流が復活しております。
昨年は補助金事業の一環として7月光塩学園調理製菓専門学校・12月三笠高校での寿司講習会、10月道産の日に一般のお客様をお招きしてネタの仕込みと寿司の握り方を披露し、司の握り方を披露し、寿司をより身近に感じて頂く活動を致しました。その後のアンケートでは、大変勉強になる御意見もあり、良い反響がありました。今後の活動に役立てて行きたいと思

います。
いつの時代も多くの問題を抱えてお店を営んで行くのですが全国的にコロナ後の生活習慣が少し変化したように思われます。特に外食に關しては宴席が様変わりしたように見られます。時代の変化に対応すべく組合員の皆様によくのご意見、ご指導を頂き更に皆様のお役に立てる組合となるよう精進して参りますので今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。
令和7年は60年に一度の「乙巳」（き

のとみ）の年です。脱皮・復活・再生したいものです。結びに当たり本年は皆様にとりまして健やかで幸多き年でありますように心よりお祈り申し上げます。年のご挨拶とさせていただきます。
追伸
今年の10月21日（火）は福井県にて全国大会が行なわれます。多くの方々のご参加をお願い致します。

脱皮・復活・再生したいものです。結びに当たり本年は皆様にとりまして健やかで幸多き年でありますように心よりお祈り申し上げます。年のご挨拶とさせていただきます。
追伸
今年の10月21日（火）は福井県にて全国大会が行なわれます。多くの方々のご参加をお願い致します。

が国に認められ、さ
らに、国の「GX
2040ビジョン」
の案が示され、国内
随一の再生可能エネ
ルギーのポテンシヤ
ルを有する北海道
が、GX産業の適地
として国内外から一
層注目されようとし
ています。私自身、
ニューヨーク州を訪
問し、州政府関係機
関と連携の枠組みを
構築したところであ
り、先進地の知見も
活かしてGX・DX
産業の集積を目指し
ます。

また、念願が叶い
「日高山脈襟裳十勝
国立公園」が誕生し
ました。多様な生態
系が残る自然は世界
に誇る財産であり、
ヒグマとのあつれき
の低減を図りなが
ら、豊かな自然を守
り、その魅力を広く
発信してまいりま
す。

観光入込客数がコ
ロナ禍前の水準を回
復しつつある中、本
道経済の発展に資す
る観光振興が図られ
るよう、宿泊税の導
入に向け、検討を進
めてきました。引き
続き、関係の皆様
の声を丁寧に向つて
まいります。

そのほかにも、全
国最多1,000人
以上の地域おこし協
力隊の活動や、パリ
オリンピックにおけ
る本道ゆかりの選手
の活躍、アンテナ
ショップ「どさんこ
プラザ」の過去最高
売上を更新、北海道
米「そらきり」の
デビューなどがあり
ました。

昨年、新たに策定
した北海道総合計画
では、北海道の力が
日本そして世界を変
えていく、そして、
一人ひとりが豊かで
安心して暮らせる地
域づくりを進めてい
くことを、めざす姿
として掲げ、この実
現に向けた取組の中
で、様々な分野で北
海道の未来を切り拓
く可能性や輝きを実
感することができ
たと思っております。
新しい年は、この
計画を基盤としなが
ら、道民の皆様の暮
らしを守り、豊かな
未来を築いていくた
め、大きな一歩を踏
み出す年にしたいと
考えています。



令和7年

知事年頭所感

北海道知事 鈴木直道

防災体制の確立な
ど命と暮らしを守る
取組を最優先としな
がら、産業振興によ
り地域経済を活性化
し、さらには、我が
国の食料・経済安全
保障において役割を
果たしてまいりま
す。国内最大の食料
供給地域として、農
林水産業の持続的な
発展に取り組むこと
も、次世代半導体
製造のパイロットラ
イン稼働を大きな弾
みとし、再生可能エ
ネルギーや広大な大
地、冷涼な気候など
多彩な強みを最大限
に活かして、AIな
どのデジタル関連を
はじめとする新たな
産業や人、投資の呼
び込みを加速させて
まいります。

そして、社会全体
で子どもを支える
「こどもまんなか社
会」の実現への取組
や、地域を支える人
材の確保・育成を進
め、さらに、戦後80
年となる本年、一刻
の猶予も許されない
北方領土問題の解決
に向け、返還要求運
動に粘り強く取り組
みます。

本年は、道庁赤れ
んが庁舎のリニュー
アルオープン、知床
世界自然遺産の登録
20周年、ウポポイの
5周年、北海道で57
年ぶりの全国菓子
博、北海道豊かな海
づくり大会の初開催
など、様々な節目の
年でもあります。
こうした機会も捉
え、本道の自然、文
化、産業などを国内
外に発信し、人口減
少をはじめ直面する
課題を乗り越えてい
けるよう北海道の創
生を進めてまいりま
すので、皆様のご理
解とご協力をお願い
申し上げます。

本年が、皆様にと
りまして、輝かしい
未来に向けた素晴ら
しい年となりますよ
う心からお祈り申し
上げ、新年のご挨拶
といたします。

